

**製品名: COX17 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09269**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COX17
別名	COX17; Cytochrome c oxidase copper chaperone
遺伝子 ID	10063.0
SwissProt ID	Q14061
免疫原	抗血清はヒト COX17 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

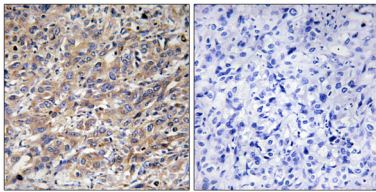
シトクロム c 酸化酵素 (COX) は、ミトコンドリア呼吸鎖の末端成分であり、還元されたシトクロム c から酸素への電子伝達を触媒します。この成分は、ミトコンドリア遺伝子によってコードされる 3つの触媒サブユニットと、核遺伝子によってコードされる複数

の構造サブユニットからなるヘテロ多量体複合体です。ミトコンドリアにコードされるサブユニットは電子伝達に機能し、核にコードされるサブユニットは複合体の調節と組み立てに機能する可能性があります。この核遺伝子は、構造サブユニットではないが、ミトコンドリアへの銅のリクルートメントに関与し、COX アポ酵素に組み込むことに関与している可能性があるタンパク質をコードしています。このタンパク質は、マウスおよびラットの Cox17 タンパク質と 92% のアミノ酸配列同一性を共有しています。この遺伝子は、COX 欠損症の候補遺伝子とは考えられていません。擬似遺伝子 COX17P が 13 番染色体上に発見されました。[機能: シトクロム c 酸化酵素 (COX) の銅シャペロン。2 つの銅イオンを結合し、COX の Cu(A) 部位へ送達します。]類似性: COX17 ファミリーに属します。組織特異性: 普遍的です。]

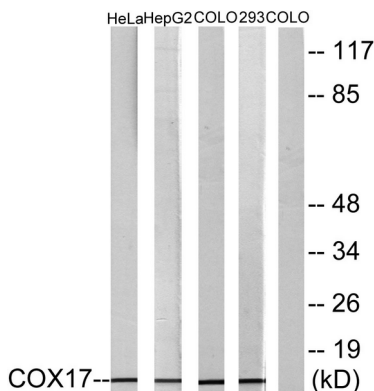
## 研究分野

酸化的リン酸化;

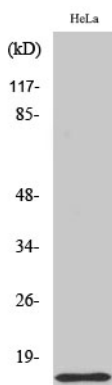
## 画像データ



COX17 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COX17 抗体を用いた HeLa 細胞、HepG2 細胞、COLO 細胞、および 293 細胞のライゼートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



COX17 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析